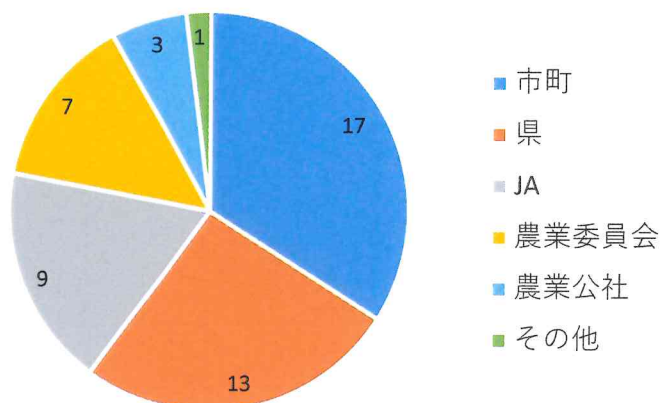


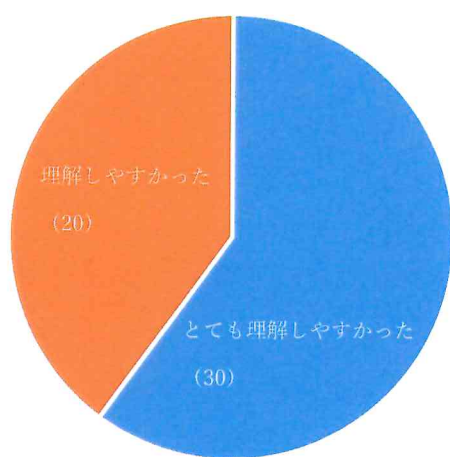
就農相談窓口担当者研修会 アンケート結果

Q1 ご所属を選択ください。

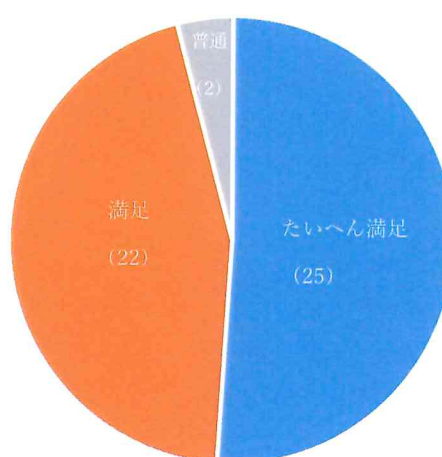


Q2 研修についての理解度、満足度をお聞かせください。

理解度



満足度



Q3 研修に参加して得られたことを教えてください。

- ・下手に補助金の話をしない事
- ・お試し体験は必須な事。先生の話聞いてツボにハマった！（良かった！）

年代などいろんなケースで重要な点がある

・現場における実践を通した課題や問題を具体的に伝えてくれて、わかりやすかった。 ・机上の理解だけでは限界があることが改めて認識できた。 ・仲介役の苦労を考慮した仕組み（メンタル支援）の重要性が理解できた。 ・本気度が高いほど大変さが増す。いかに大変さを覚悟できる本気度の養成が必要。
相談者タイプに応じた説明
・様々な事例 ・皆だれもが悩みながら就農相談を受けている ・上手なあきらめさせ方
短期間の研修を開催したいと思いました。（今まで考えたことがなかった為）
実体験を交えた、困った人への対応の考え方
今後、新規就農相談があった際には、今回の研修を参考にしたいと思いました
相手へのアプローチの方法について勉強できました
親身になりすぎないこと。聞きづらいことへのヒアリング方法。
相談者への伝えるべき点、伝え方、タイミングの重要性
相談を受けるにあたって、伝えにくい内容の伝え方などがわかった。グループワークを通して、自分にはない考えがわかってよかった。反対に自分の考えが他の方と一致したときは考えが間違っていなかったとわかって良かった。
講師の方のフレーズが印象的でした。人材育成には改めて時間を要すること。成果が出る（見える）まで気長に構えること。
相談を受ける際のポイントが理解できた。メンタルケアの重要性。
自分だけが悩んでいるのではないことが分かって少しだけ安心した
年代別に確認すべきポイントが良くわかった。面談時の具体的な注意点が良くわかった。生きた体験談が大変心に響いた。
他の方達と意見等きいて、自分と大体同じ対応をしていたという安心が得られた。
年代別でも共通してヒアリングする内容やその年代に合わせた質問など参考になった
テクニック
補助制度の概要が知れた
就農相談時のポイントについて学ぶことができたので、業務に活用したいと思います
年代別にどのような点を伝えるべきか、考えることができた
話術や悩んでいた問題の内容を学ぶことができた
話し合いをしたことで視野が広がりました
相談者を具体的に想定してグループワークができたため、対応の幅が広がったと思う
年代別に伝えるべきことを学びました
心理学的なこと等
自分の中では認識できていなかった相談時の確認事項、留意点を把握することができた
対応で気をつけなければいけない部分等、大変参考になった

グループワークにて様々な意見が聞けた
年代や個人の状況に応じた対応、ポイントがある
就農相談のノウハウ、基本の対応事例がわかって、とてもわかりやすかった。また、午後のグループワークはよかった。(午前の講義をふまえて)
新規就農における年代ごとのヒアリング事項
事例や相談者の年齢に合わせた相談対応のやり方、他の市町等の対応のやり方
アプローチの方法について勉強になりました
就農相談にあたる際の心得的なところ
新規就農の対応する際には、全年齢で共通して確認する事項があると学んだ
平岡さんの実体験のさまざまな事例や県内の対応の経験を多く聞くことができ、大変勉強になりました
相談に対するヒント、伝え方。お試し体験の必要性＝農業イメージや協調性等相手を知ることになる
新規就農者相談というのは、農政の中でも特異なものである。極端なことをいえば、相手の人生を左右するものである。非常に重たいものである。でも就農者が増えることは大きな喜びである。そのような感想を持ちました。

Q4 今後、研修したいテーマがありましたら教えてください。

今日のような内容、トラブル対応について
クレーム対応
・外国人実習生に係る制度変更に伴う対応として「外国人労力の有効活用の方法」に係る研修。 ・実践から学ぶことが最重要→県内事例の収集、情報発信、共有、成功事例
補助事業や資金についての説明を聞きたい
・新規就農者、雇用就農者への支援策。 ・「聞く」から「聞き出す」へ、さらなる就農相談スキルの向上。
こういった形の研修は勉強になって良かった。市町村の担当者は農業未経験の場合が多いため、毎年続けてほしい。できれば初任者向けにいきなりロールプレイに入るのではなく、一通り模範例など実演してもらえると良い。
農業者（研修先、マイスター等）を交えた、現場のアレコレ（事例の討論、良い点、悪い点、困った点）
各担当者の失敗例、困った事例、成功例等共有する機会あれば
同様の研修を「継続」してほしい
熊本のお話で県主体？の協議会を作り、地域を越えてまとめた際のポイント、大変だった点を伺いたい
事業活用に必要な提出資料などの説明
市町の担当は毎年変わるので、毎年同じような研修があると良いと思います
新規就農者確保について取り組んでいる事例とか
コーチング、メンタルケア

Q5 研修の運営など、ご意見やご要望がございましたらご記入ください。

・情報交換を定期的に行いたい ・現場の状況を聞き取りしてほしい（事前調査）
・半農半Xや兼業農家などたような担い手が想定されることから、ケースバイケースの支援のあり方、対応の仕方について学べる研修。 ・各市町、団体の担当者が欲しい情報やスキル、ノウハウを踏まえることが大事。
・日本政策金融公庫などの融資審査のポイントなどを知りたい。 ・もう少し、短時間での講座を増やしては。 ・アンケート等でほしい情報や支援内容を把握しては。 ・マイスターを対象とした研修の強化。
グループワーク型の研修（事前検討など）など、時間の余裕をもってやってみたい。 →幅広い知識を求められるのが新規就農担当だと思うので、検討いただきたい。
もう少し時間があってもよかった
定期的に研修を開催していただきたいです
講師の先生が面白かった
新規就農相談会や補助制度の関係等、ある程度予備知識があることが前提の研修会だった気がします。 4月からの担当者だとちょっとキツイ気がしました。
質疑では一つ一つ丁寧に回答していただき、ありがとうございました。研修通知に会場の駐車場案内をつけていただき良かったです（慣れない会場なので）
就農相談は実際に労力負担がかかるし、ストレスが大きい、ひとりで悩まない事。学ぶきっかけの研修会で勉強になりました。